

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	020203070	予算コード	01058800	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	青少年健全育成事業			正規職員数 2	国庫支出金 0	有効性	B	青少年の健全育成のため、啓発・講習会は必要である。各団体については、年々弱体化の傾向があり、市は事務局として積極的な関与が必要である。	
担当課	青少年課		嘱託職員数 0.5	府支出金 0					
根拠法令等	市単独事業		臨時職員数 0.5	市債 0	効率性	C			
	■法律・政令・省令		歳出(千円)	その他 0					
	社会教育法		人件費総額 20,175	一般財源 24,441	妥当性	A			
	地方青少年問題協議会法 子ども・若者育成支援推進法			減価償却費 0					
				事業費 4,266	受益者負担	該当なし			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 24,441	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円) 243			指導者講習会、青少年問題講演会等の実施。		
対象				活動指標	H30実績	公的関与	B	泉佐野市こども会育成連合会、泉佐野市青年団協議会の事務局運営	
不特定の市民		対象数		青少年健全育成に関する講習会	2.0				
				青少年会館開館日数		実施主体・委託化	B		
事業の内容				青少年広場利用可能日数					
青少年健全育成事業として青少年問題講演会等を開催している。社会教育団体である泉佐野市こども会育成連合会、泉佐野市青年団協議会の事務局をしている。				泉佐野市こども会育成連合会加入団体数	49.0	他の事務事業との関連	A		
				成果指標	H30実績	透明性	B		
				健全育成に関する講習会参加人数	68.0				
				青少年会館開館利用者数		財政健全化計画	該当なし		
				青少年広場利用者数					
			泉佐野市こども会育成連合会加入者数	2,241.0	財政健全化の取組	B			
				コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				講習会参加者1人当たりの事業費	3,172.8				
青少年自らが逞しい自立の力、やさしい心豊かな創造性を身につけるための環境整備及び青少年を指導する立場にある指導者の育成を行うことで青少年の健全育成を図る。				青少年会館利用者1人当たりの事業費					
				青少年広場利用者1人当たりの事業費(円)					
				泉佐野市こども会育成連合会加入者一人当たりの事業費	875.4				